

海底油井対応プロジェクト (SWRP) : 海底油井事故への国際的対応の強化に向けた 共同プロジェクト

| www.oilspillresponse.com : www.subseawellresponse.com |



ハイライト

- SWRPは**国際的に利用できる統合インターベンションシステム**を立案
- システムには**キャッピング・スタックと海底油処理剤散布用機材**が含まれる
- SWRPと**オイル・スピル・レスポンス社 (OSRL)**は業界への装置提供のために協力
- OSRL の会員になり、補足契約を結ぶことで**業界は装置を利用できる**
- 最初の装置は**いつでも使用できる態勢**
- 装置は2013年から**世界4か所で保管される**

課題

- 業界は、将来の重大な海底油井制御事故への対応に備えなければならない
- 業界は、安全にかつ責任を持って操業できることを証明しなければならない
- 国際的な対応能力が求められている
- 最新の対応ツールが利用できなければならない

海底油井対応プロジェクト

- 石油・天然ガス大手9社
- 非営利の共同の取り組み
- 国際的な海底油井制御事故に対応する能力強化のための取り組み
- OGPの国際業界対応グループ (GIRG)の提言により結成

SWRPの指針:

1. 防止が最重要
2. 規制当局と協力
3. 業界の対応能力の強化
4. 国際的規模での迅速な対応

SWRPの目的

油井を閉鎖できる装置一式を備えた
キャッピング・ツールボックスの設計

油処理剤の海底散布用の追加的機材の
設計

展開方法の評価と実施

世界的な封じ込め方法の必要性和実行
可能性の追加評価

国際的対応

反応の迅速化

環境に及ぼす影響
の低減

業界の協働

OGPの国際事故対応グループ

防止

油井工学設計と油井運転管理の
能力・手順の向上



油井専門家委員会 (WEC) –
OGP内の常設委員会

インターベンション

事故発生時のキャッピング対応の向上、および世界的な封じ込め方法の必要性と実行可能性のさらなる研究



対応

効果的で目的にかなった油濁に
対する備えと対応能力



政府、規制当局、石油産業協会、油濁処理機関、および業界の取り組み

装置

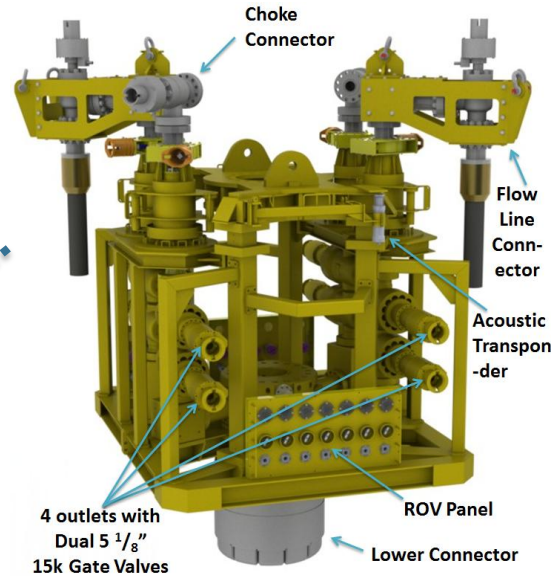
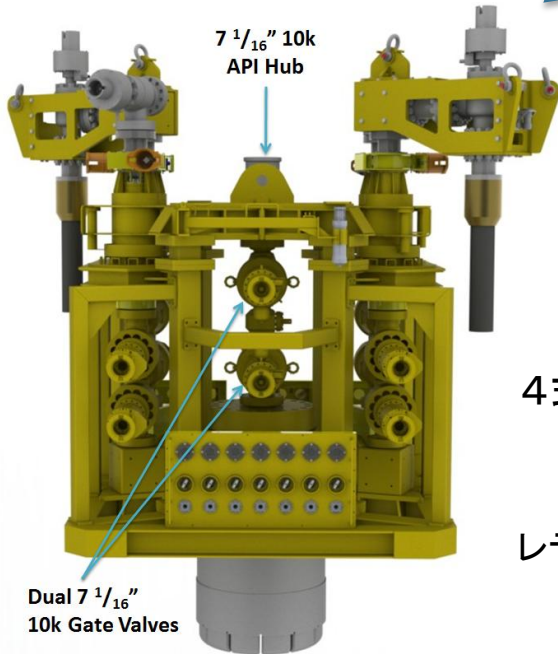
統合海底インターベンションシステム

統合インターベンションシステムには以下を含む:
キャッピング・スタック・ツールボックス4個
海底油処理剤散布機材2セット

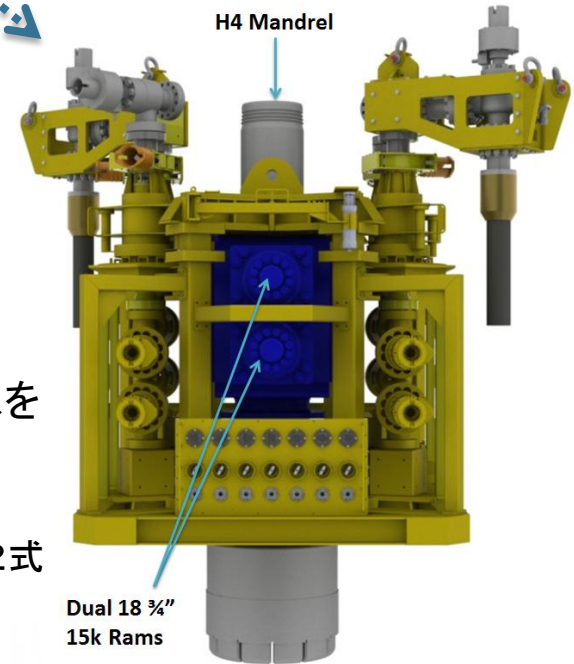
- 世界の海底油井の大半で使用可能
- 最大深度3000m の海底で使用可能な設計
- 海路・空路のいずれでも輸送可能
- 2013年初旬から利用可能な態勢
- 2013から世界の4か所で保管: ノルウェー、シンガポール、南
アフリカ、ブラジル
- トрендセッター・エンジニアリング社およびオーシャニアリン
グ社が製造

標準化されたキャッピング・システム

Dual 7¹/₁₆" 10k Gate Valves on Main Bore



Dual 18 3/4" 15k Rams on Main Bore



15k psi 共通システム

4式のキャッピングスタックツールボックスを含む統合インターベンションシステム:

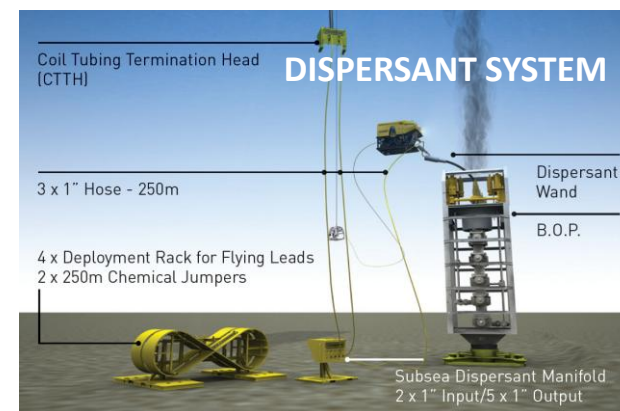
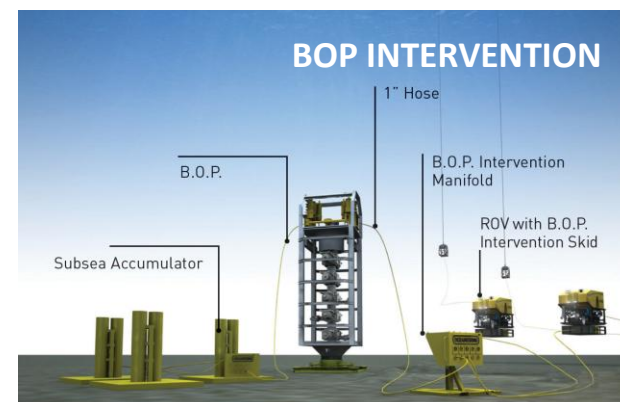
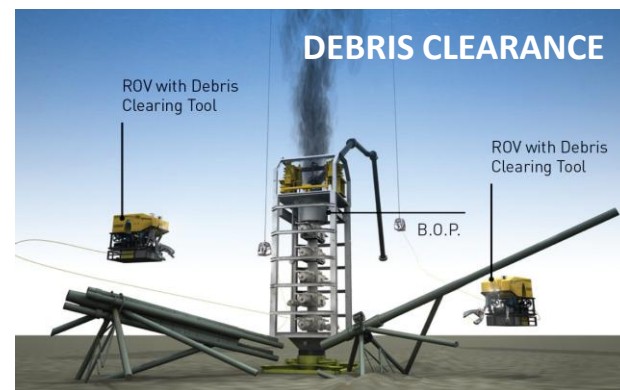
フルボア型15k psi キャッピングスタック2式
レデュースボア型10k psi キャッピングスタック2式

キャッピング・スタック・ツールボックスー 組立て トレンドセッター・エンジニアリング社



海底油処理剤散布装置

- 油井の先端における油処理剤の海底散布は、キャッピング作業で一連のものである：
 - 対応作業員の海上作業環境の安全性を向上
 - 油の分解を促進
- 海底油処理剤散布機材キットには以下が含まれる：
 - 現場調査用ツール
 - 瓦礫除去装置
 - フライング・リード、分配マニホールド、油処理剤散布用ワンド
 - 大容量アキュムレーター
- OSRL は油処理剤の備蓄を戦略的に配置する予定。
ただし、その利用には別の追加契約が必要（インターベンションシステム利用契約には含まれない）



海底油処理剤散布機材キット オーシャニアリング社での製造受入検査



海底油処理剤散布機材キット オーシャニアリング社- 現場統合試験



保管地

国際的納入と保管

キャッピング・スタック・
ツールボックス 4個
(2 x 10k / 2 x 15k)
納入 2013年1月-8月

海底油処理剤散布機材
ツールボックス 2セット
納入 2012年12月

ノルウェー、
スタバンゲル



D

シンガポール



ブラジル、
リオデジャネイロ



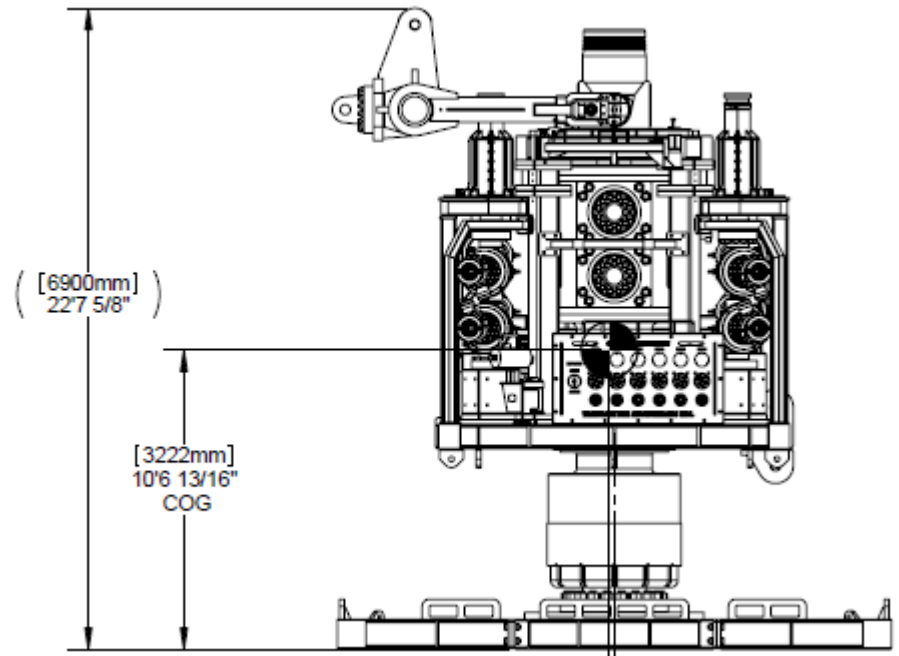
D

南アフリカ、
サルダニヤ



保管構成

- キャップは完全に組み立てられた状態で自走式モジュラートランスポーター (SPMT)/トロリー上に保管
- SPMT/トロリーはキャップの港への運搬に使用
- すべての基地では吊り上げ能力150 MT @ 20mのクレーンを利用可能



ノルウェー、タナンガー・オフショア供給基地

- 石油・天然ガス主要港内に戦略的に配置
- 現場のロジスティクス機能や付加的サービス利用について主要サービス提供者の承認を得て、キャップは現場に保管
- スタバンゲル空港、オスロ空港に近接
- 2013年3月までに完全に使用可能に



シンガポール、ロイヤン・オブショア供給基地

- シンガポールの北東部に戦略的に配置
- 現場のロジスティクス機能や付加的サービス利用について主要サービス提供者の承認を得て、キャップは現場に保管
- チャンギ空港に近接
- OSRLの新施設に配置
- 2013年5月までに完全に使用可能に



南アフリカ、サルダニャ製作ヤード

- サルダニャは将来、南アフリカの沖合石油・天然ガス開発の中心地になる可能性があると考えられる
- ケープタウン空港に近接
- 2013年6月までに完全に使用可能に



ブラジル、アングラ・ドス・レイス

- 現在、契約を取りまとめ中
- 現場のロジスティクス機能や付加的サービス利用について主要サービス提供者の承認を得て、キャップは現場に保管
- リオデジャネイロ空港に近接
- 2013年末までに完全に使用可能に



利用および契約

業界各社はOSRL経由で装置を利用可能

- OSRL は業界が利用できる新統合インターベンションシステムを作る
- OSRL が装置を所有、保管、維持・管理を行う

オイル・スピル・レスポンス社 (OSRL)

- 油濁対策および即応サービスを世界的に提供する最大の組織
- 過去25年間の主な油濁事故のほとんどすべてに関わる
- 非営利、業界出資の協同組合組織

装置の利用

利用方法:

- 世界中の石油・天然ガス会社が装置を利用可能
- 利用には以下が求められる:
 - OSRL会員であること
 - 補足契約、参加料、および油井数に応じた年間料金
 - 主要基準を満たすこと
- 問合せ先 swrp@oilspillresponse.com

主な利点:

- 最新の対応装置が利用可能
- 包括的危機管理計画を策定
- 各種国際的シナリオへの対応に備える
- OSR の25年の経験から学べる
- 環境に配慮した石油業界であることを示せる

OSRL経由の利用

- OSRL 経由の業界各社の加入申込受付中
- 早期加入申込期間は2013年3月31日まで
- 短期加入契約 (STSA)
- 資料提供中

継続的な協力

- プロジェクトが成功を続けるには取り組みが引き続き重要
- 主要ステークホルダーとの率直な対話の維持、規制当局、各国石油産業協会、OGP油井専門家委員会、油濁対策業界合同プロジェクト (JIP)、およびサービス企業との積極的な協働
- 石油・天然ガス各社が装置を利用できることを業界全体にPR
- 業界全体、また世界中での事故対応能力の強化が図れるよう、加入企業を確保

End of Presentation